

十勝管内の教育旅行の受入について

株式会社 ノースプロダクション
代表取締役 近江 正隆

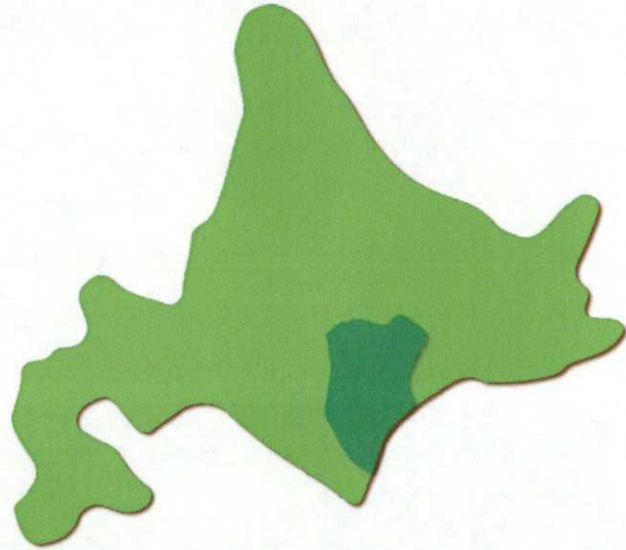
■ 本日のお話

Today's story

- 🌱 十勝管内の教育旅行
- 🌱 十勝最大の事業“農村ホームステイ”
- 🌱 これからの十勝の教育旅行の“姿”



北海道十勝の教育旅行



農家運動会
アグリピック
***** AGRIMPIC *****

料金のご案内

料金はすべて税別です。*人数・期間によりお値段が変わります。

修学旅行 （1泊）	料金は 4,000円～6,000円	一般 （1泊）	料金は 5,000円～10,000円
--------------	----------------------	------------	-----------------------

*4泊以上の修学旅行は別料金です。

オプション ばん馬	料金は 50,000円	MC	料金は 50,000円	昼食代	料金は 2,000円
--------------	----------------	----	----------------	-----	---------------

修学旅行（例）

料金は
4,500円

※人数・対象 160名（4チーム）/ 予定
※期間 3日間
※オプション なし

- 9:30 会場到着・挨拶
- 9:45 集合式
- 10:00 第1種目「じゃがいもを運べ」（15分間）
- 10:30 第2種目「ジャコウチン運び」（15分間）
- 11:00 休憩
- 11:10 第3種目「農業実習体験争い（選別）」
- 11:40 第4種目「選別コンペ」（15分間）
- 12:10 昼食代・お弁当
- 12:30 会場出発

一般（例）

料金は
12,000円

※人数・対象 40名（4チーム）/ 大人
※期間 4日間（昼食代）
※オプション 昼食代
※特典 農業体験

- 9:30 会場到着・挨拶
- 9:45 集合式
- 10:00 第1種目「じゃがいもを運べ」（15分間）
- 10:20 第2種目「高枝がらみ」（15分間）
- 10:40 休憩
- 10:50 第3種目「農業実習体験争い（選別）」
- 11:10 第4種目「選別コンペ」（15分間）
- 11:30 昼食代・お弁当
- 12:00 休憩
- 13:30 会場出発

体験者の声

1
修学旅行
の思い出
を作りました。

2
新しい場所で
農業を体験
しました。

3
農業の
楽しさを
学びました。

農業研習・修学旅行のオアシス!

お問い合わせ

単任アドバイザー協議会
「アグリピック」事務局 | 修学旅行センター
TEL: 0152-22-1111 (代) TEL: 0152-22-1112
MAIL: info@agripic.jp
www.agripic.jp

※お問い合わせは、お電話またはメールにてお願いいたします。
※お申し込みは、お電話またはメールにてお願いいたします。
※お申し込みは、お電話またはメールにてお願いいたします。

いただきますカンパニー “アグリニック”

Q 学びのコンセプト

農業運動会「アグリニック」は食料自給率1,000%を超える農業大国「十勝」で行う農業の魅力を体を使って学び・楽しむ運動会！農家さんが普段行っている農作業や農業資材を使った競技をチーム対抗で競います。

体験のポイント

- 今までにない新しい形で農業の魅力や価値を体験
- 仲間と協力し競技に挑むことで主体性や協調性を育む
- 競技を進行する畑ガイドとの対話的な交流で地域の価値に触れる

受入可能人数 20名～160名 ※160名以上は応相談 所要時間 2時間～3時間半

会場 帯広市川西町付近 屋外広場
※雨天時は帯広市近郊の屋内体育館に変更
※サホロリゾート宿泊団体に限り、サホロリゾート内の敷地でも実施可能

鹿追 藤田牧場



牧場見学＋乳しぼり体験 (牛乳・オリジナルアイスクリーム付)

牧場見学は牛の生態、飼育方法、牛乳が生産されるまでをご説明します。牧場内には、山羊や猫、犬などの小動物も飼育されています。動物とのふれ合いを通じて命の大切さを学びます。牧場体験のクライマックスは何と言っても「乳しぼり」です。まず牛の体にふれてみましょう。牛の体温は38.5～39.0度と人間より高くとても温かく感じます。乳しぼり（搾乳）のコツをスタッフから教えてもらったら実際に牛の乳にふれ指を上手に動かしながらミルクを搾ります。真っ白なミルクが出てくる光景は感動的です。

【参加料】
2,500円（税別）/1名様
2歳以下 入場無料（保護者同伴に限る）

タイムスケジュール

- ① 10時00分～
- ② 13時00分～

所要時間：60分～90分

COUNTRY FARMERS
Fujita Farm

社団法人日本中央酪農会議認定牧場

新得 友夢牧場



酪農体験

大人 2000円(税込) 子供 1500円(税込)
見学 1000円(税込)

今すぐ予約



YUUMU FARM

※必ず事前に予約をしてください。予約内容は体験2日前まで変更可能です。
※未就学児の体験希望は保護者の付き添いが必要です。"見学のみ"の項目からお申し込みください。
※3歳以下のお子様は無料です(保護者の見学料は必要です)。

本日のお話

Today's story



十勝管内の教育旅行



十勝最大の事業“農村ホームステイ”



これからの十勝の教育旅行の“姿”



とちぎ農村ホームステイ



NPO法人 食の絆を育む会

(1) 第29865号 2019年(平成31年)2月5日(火曜日)

十 勝

農山漁村ホームステイ10年 修学旅行生2万人が来勝

交流密に

NPO法人食の絆を育む会(浦幌町、近江正隆理事長)が取り組む農山漁村ホームステイ事業が、開始から10年の節目を迎えた。都会(消費地)の高校生が生産現場を理解し、人とのつながりを感じる新しい教育の場として定着した。受け入れ延べ人数は2万人を超え、ホームステイ参加者が進学、就職先に十勝を選ぶケースもみられる。



ホームステイを終えて生産者との別れを惜しむ参加生徒(2018年、南十勝エリア。食の絆を育む会提供)

「なに質問する生産者や自治体でNPO法人を立ち上げ、運営している。各家庭では泊まりがけで農作業や漁業を経験。受け入れる生産者家族のように入れる生徒は家族のようになり、心えきれない状況だ。『知らない人について行ったらため』と教えられて育ってきたので、他人への安心感を取り戻した。などの感想が寄せられている。学校の申し込みは多数あり、心えきれない状況だ。最近、ホームステイ事業

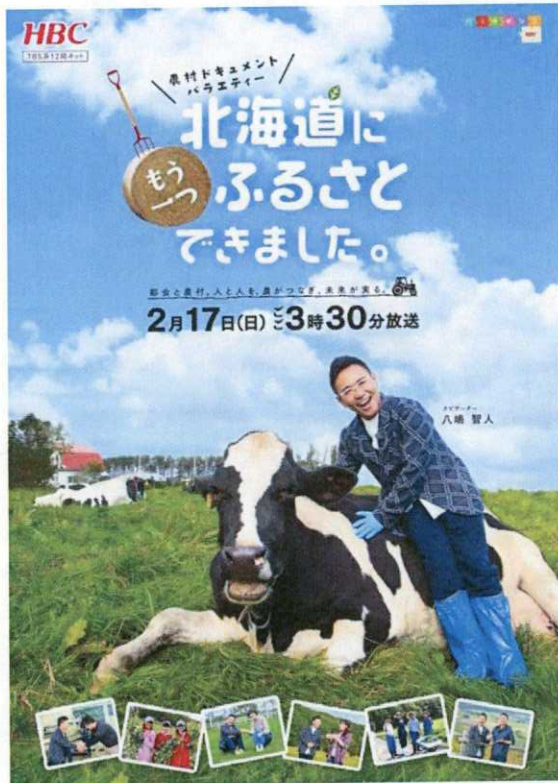
業に参加した生徒が十勝で進学、就職・就農する例も。毎年、十勝に遊びに来たり、農作物の収穫の手伝いに来る参加者も少なくない。受け入れる側も、1次産業の魅力や価値を再認識する契機になっている。

近江理事長は「最初は農業への理解を広めようと思ったが、想定しなかった効果が参加者(生産者)だけに生まれている。事業の課題はあるが、持続的に実施していきたい」と話している。

(伊藤 光太)
(3面に関連記事)

【広尾】国道306号(黄金通)沿いのフンベの滝で、結氷が進んでいる。連日、厳しい寒さが続いたことで、つららのような氷柱が幾重にも岩壁を覆い、自然の造形美を生み出している。

フンベの滝は幅約100メートル、染み出した地下水が10メートルの高



十 勝 毎 日 新 聞

17日ホームステイ紹介番組

HBC 十勝の梶川さん、米田さんも出演



番組を紹介する梶川さんと米田さん(右から)

NPO法人食の絆を育む会の農山漁村ホームステイ事業を取り上げた、北海道放送(HBC)のテレビ番組が17日午後3時半から、放送される。
タイトルは「北海道にもう一つ、ふるさとできました。」
「都会と農村。人と人を、農がつなぎ、未来が実る。」
俳優の八嶋智人さんがナ










生徒を送り出した学校の先生の声

本日のお話

Today's story

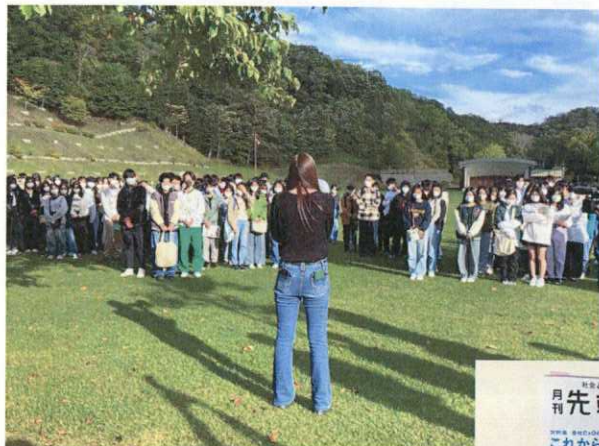
-  十勝管内の教育旅行
-  十勝最大の事業“農村ホームステイ”
-  これからの十勝の教育旅行の“姿”

修学旅行のカタチが今変わりつつある！

新学習指導要領の完全実施で、2023年度は修学旅行を「探究学習」の機会として実施する学校が増えている。急速な変化を伴う予測困難な時代、学校で育てるのは「生きる力」であり、主体的・対話的で深い学びを選べる体験の場として修学旅行が重視されている。

文部科学省は「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」のなかで、探究的な学習について、日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定し、情報収集、整理・分析、まとめ・表現を経たうえで自分の考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返されることと記している。

うらほろSDGs探究学習プログラム



うらほろ未来を描くプログラム



「次世代に繋がる社会を創りたい！」と未来を想い、ワクワク楽しむ大人たちが集まるまち「うらほろ」で、多様な人生観や職業観に触れることで自己理解を深め、持続可能な社会への関わり方を思い描く

基本 コンセプト

「今後自分たちが生きる未来をよくするために、自分はこの後どうするか」を考えるきっかけに。浦幌町には「未来」を想い行動する職業や年齢がバラバラの大人がどんどん集まってきています。地元浦幌を大切に人、町外から浦幌に移住する人、都市部から浦幌に通う人、都市部で浦幌をPRする都市部生まれの人etc. 共通する想いは「未来のために」。集まってくる大人にはそれぞれ「想い」とその想いをもち「きっかけ」があります。そんな大人たちとの交流を通じ、生き方や働き方、社会とのかかわり方などこれから生きる未来を考えるきっかけにしてほしい。漠然とした未来や迫りくる社会課題を悲観せず、多様な角度から考え、挑戦することは自分と未来の可能性を広げると知ってほしい。

Point 1

未来を描く探究学習

今後急速に変化する未来に目を向け自分は「未来をどう生きていくか」を考える未来志向型探究学習。
事前学習で未来やパートナーへ目を向け、プログラムとおして生き方や働き方など自身のキャリアビジョンと社会とのかかわり方に繋げていく。

Point 2

次世代を想うパートナーとの対話

浦幌に集まる多種多様なパートナーは何を感じ、何を考え、何をし、何を指すのか。なぜ浦幌に集まるのか。ざっくばらんに話せるよう10名ほどに分かれパートナーとなった大人の熱量や価値観に触れ感じたことや自分の想いを言語化する。

Point 3

社会の主役は君たち

プログラムを通して感じ取ってほしいメッセージは「社会の主役は君たち」という事。「浦幌」という遠くの小さな町、林業・酪農という馴染みのない産業、未来志向パートナーとの交流。教育旅行だからこそ生まれる繋がりから得られるのは未来を「自分ごと」にすること、そのきっかけ。

旅マエ



- 旅行先の北海道の課題は遅れて都市にやってくる?
- 20X0年予想する未来と予想されている未来
- 修学旅行で行く「浦幌町」ってどんな町?
 - ・ 浦幌町の場所、人口、産業、特徴
 - ・ 人口減少、高校閉校、次代につなげる、持続可能な町
- 「未来」を考えると、持続可能な社会とは?
- 浦幌町には新卒やリターンで移住する若者もいる
 - ・ 大学卒業後に地域に移住を選択をした20代の話
- 浦幌町に集まる未来を考える大人たち
 - ・ 未来づくりA (地域内外の方と協働で事業を創出するまちづくり)
 - ・ 未来づくりB (まちの未来を担う子どもたちを対象にしたまちづくり)
 - ・ 浦幌町の気になることは? 興味を持った取組みは?
 - ・ 修学旅行でもっと知りたいのはA・Bどっち話?
- グループ分けとマッチング
 - ・ グループ紹介カードと質問一覧シート作成
 - ・ 何を聞きたい? なんて聞きたい? 何に興味がある?

旅ナカ



- 林業関係者の話【森林政策】
テーマ例：循環型産業～長い時間軸～

- 酪農業関係者の話【牧場見学】
テーマ例：生きること～牛と人の一生～



- 未来を考えるパートナーとの交流
 - ・ 生徒8～10人にパートナー1名のグループで交流
 - ・ パートナーの取り組みや考え方、熱量に触れる
 - ・ 質疑応答
 - ・ パートナーの話を聞いたうえで自己を考える
- ワークショップ (パートナーはファシリテーター)
 - ・ 未来の主役は自分たち、未来は自分たちでつくる!
 - ・ 自分は未来をどう生きたいか、どう社会と関わるか

旅アト



- 浦幌町での活動を振り返る
- 自分の目指す未来に必要なことを考える
- 自分の方向性を考える
- まとめて発表する
- 今回の活動を振り返る (自分を知る)
 - ・ 楽しかったことや得意に感じたこと
 - ・ 難しかったことや苦手に感じたこと
 - ・ これについてもっと知りたい!
 - ・ もう一度やるなら次はこうしたい!

GOAL

持続可能な社会とそこに
関わる自分の姿を思い描く